

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」新座校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		パーティションを使用する場合や、独立した部屋があるため個別支援に適切なスペースが確保されている。	聴覚・視覚に過敏があるなどお子様の特性に合わせて支援室を使い分けるなどの工夫をしている。
	②	職員の配置数は適切である	○		法令等に遵守し配置している。	職員と利用者のバランスが保てるように継続していく。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		一つ一つの部屋が、お子さんが集中して活動に取り組める環境になっている。内部はバリアフリーでつまずく場所はない。	玄関先に、階段があるため、来所時、帰宅時にお子様がつまずいてしまわないよう、声かけを行うなどの工夫をしている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		日頃から、事業所の清掃に十分な時間をつかい清潔を保っている。及び、支援室や教具の消毒は使用の度に行っている。	独立した部屋があるため、お子様によって温度調整を行いながら、心地よい空間で支援ができるよう工夫している。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○		朝終、運営・営業会議、モニタリングを通して行っている。	話し合うべき事案が発生した際にも、定期的なミーティングを行うなどし、情報共有し改善に努めている。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		支援後等のフィードバックや、イベント（親カフェ）に関するアンケートを行い保護者の意見をお聞きしている。	保護者からの意見には職員間で情報共有し日々業務改善に努めていく。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		開所1年の教室であるため、今年度が初めての公表である。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	○			現在は実施していない。今後の実施予定については未定。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		毎月の法人内の研修を受講している。新座市こども部会主催の分科会などにも定期的に参加している。	外部についても、必要に応じて参加をしていくように努めていく。
適切な支援の	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		法令等に則りアセスメントを行い個別支援計画を作成している。	日々の支援から保護者の聞き取りを行った上で、職員間でも分析を行い計画の作成にあたっていく。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		半年ごとにアセスメントシートを用いて状況を把握・更新している。	職員全員で確認し、実施するように努めていく。

提供	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		「家族支援」「地域支援」の項目は設定していないが、内容を盛り込んで作成している。保護者からの要望や児童の状況に合わせ、適宜、支援内容を変更していくように努めている。	ガイドラインの中に示されている内容と、都度保護者の意向と本人の状況を踏まえ内容を決めていく。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		ガイドラインの内容に即した計画の立案を行っている。	個別支援計画を添付し確認しながら計画を立て支援プログラムを作成している。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		定期的なミーティングや支援記録で情報共有を図り、全指導員共通認識の元、プログラムを立案している。	職員全員で随時相談しながら進めていくことを継続していく。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		担当制をとらずに様々な視点で支援にあたっている。	担当制ではないため各指導員の目線から支援を行うことで、お子様の状況、適切な支援について日々改善を繰り返していく。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○		状況に応じて集団での活動を取り入れ、個別だけでなく全体を通して計画を作成している。	個別ならではの内容設定し徐々に集団に向けた支援内容に切り替えている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		朝礼ミーティング等でその日の支援について支援の打ち合わせを行っている。	すべてのお子様に対し、全職員で共通認識を図っていけるよう、情報共有の場を継続して設けていく。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		その日のうちに、周知するべき必要があるものは、ミーティング等を開き全員で共有する時間を設けている。	その日のうちに全職員での共有が難しいときには、翌日の朝礼や社内ツールを用いて共有するようにしている。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		社内ツールにて確実に作っている。	記録漏れがないことを定期的に確認している。
	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		計画期間終了を目的に、モニタリングを実施し聞き取りをしている。	半年の見直し期間はもちろんのこと、その他保護者からの要望があればその都度見直している。
	関係機関や保護者との	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管、指導員ともに、参加できる際はしている。
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○		市のこども部会に月1回で参加している。児童発達支援センターや子育て支援センターとも情報共有を行っている。	保護者の要望に応じ幼稚園、保育園、学校などの関係機関と連携を実施している。
㉓		（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合）地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○	○	医療的ケアが必要なお子様が通所していない。	該当児童がいない為、未実施。

連携	②④	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○	医療的ケアが必要なお子様が通所していない。	該当児童がない為、未実施。
	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	保護者からの要望に応じて保育園など関係機関に訪問するなど、情報共有を行うよう努めている。	担任の先生などと家庭や学校、園での様子を話し合い共有と共通理解できるよう努めていく。
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○	保護者や学校からの要望に応じ、必要があれば学校等に訪問するなど情報共有している。	保護者や学校からの要望に応じ必要に応じて行っていく。
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	児童発達支援センターや、児発の他事業所へ見学に伺い、情報共有の場を設けている。	必要に応じて行っていく。
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○	未実施。	要望があれば交流を検討。
保護者への説明責任等	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○	定期的開催されているものに、参加している。	児発管及び管理者が参加している。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	FBにてお伝えしている。	毎回のFBを通し、家での様子や課題を再確認している。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○	事業所ではまだ実施していない。	事業所としてはまだ実施していないが、こども部会での研修等は受講しているため、今後実施していく予定。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	運営規定、利用者負担については、ご契約時にご説明している。	基本的に契約時にご説明しているがその後も問い合わせに対応している。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○	支援計画は、作成のたびに確認していただいている。	支援計画に同意を得ている。
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	FB・事業所内相談にて実施している。	随時相談があった際に、周りの状況に応じて環境に配慮しながら対応を行っている。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	イベント時に保護者同士で話し合う時間や、イベントで親カフェを開催している。	アンケート等により保護者のご要望を聞きながら活動を継続していく。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○	要望に対して、まずは丁寧に聴き取りを行い、迅速に取り組みめるものから順次取り掛かれるよう努めている。	相談や申入れがあった場合は、全職員で共有し、対応するようにしている。

非常時等の対応	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ブログ・Instagramを定期的に投稿し、校舎の様子や支援でのお子様で作成した作品などを発信している。	会報ではないが、LINE、Instagram、ブログを介して紹介や告知などを行っている。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	○		鍵のかかるロッカー又はキヤネットにしまい保管に努めている。	SNS等に掲載する写真に関しても、保護者への確認を一人ひとり行っている。
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		お子様に合わせた伝え方やニーズの確認を行っている。	ご要望によっては、LINEやメモなどの文章にして意思疎通をとるなどの工夫をしています。
	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	まだ、地域と関わる行事は未実施。	地域のお祭りの際にチラシを配布させてもらったり、町内会長さんイベントのお知らせをさせていただいている。
	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		訓練は、月に1回実施している。	ご利用様参加型のものが行えない為、実施できるように努めていく。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月に1回実施している。	避難時の際に必要な道具などを定期的に確認している。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		面談や契約時に確認するよう徹底し、全職員で情報共有している。	継続していく。
④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	食べ物の提供は行っていないが、食べ物に限らずアレルギー全般に関する管理に努めている。	食事提供を行っていないが、アレルギーについては定期的に確認すように努めている。	
④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット用ファイルを作成し、事案発生時には報告書を作成し、職員全員で共有に努めている。	ヒヤリハットにつながりそうなことなども職員間で話をして事前の確認に努めていく。	
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年に1度以上実施している。こども部会の研修に参加している。	虐待防止、身体拘束委員会による研修を実施予定。	
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		該当する利用者様には契約時などにご説明している。	契約時などに、書類でサインをいただくようにしていく。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」新座校 保護者等数（児童数）：9 回収数：6 割合： 67%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	0	0	0		今後もお子様に合わせた活動のスペースの確保を行っていきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	5	0	0	1		職員と利用者のバランスが保てるように、継続していきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	0	0	0		来所後手洗いをし、自分の支援スペースに迎える導線づくり、声かけを継続していきます。玄関先の階段で来所時・帰宅時にお子様がつまづいてしまわないよう、声かけを行っていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	6	0	0	0		毎日の清掃、空調設備や感染症対策をしっかりを行い、発達に合わせた空間作りをしていきます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	6	0	0	0		アセスメントやモニタリングを丁寧に行い、ニーズを的確に把握した支援計画作成に努めていきます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	0	0		支援計画の際にガイドラインの項目を適切に選択し、その旨を保護者に丁寧に説明を行っていきます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	0	0	0		計画に沿った支援が提供できるよう、支援内容変更時には保護者との相談の上、計画を変更していきます。

	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	6	0	0	0		固定の指導員にせずローテーションで支援にあっているため、複数のプログラムで支援をしています。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	2	1	1	2	通い始めたばかりでまだ分からない。なくてもいいと思う。	要望があれば対応を検討していきます。
保護者への説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	6	0	0	0		契約時や、更新時に保護者様に説明をさせていただいております。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	6	0	0	0		新しい計画作成時には丁寧な説明を心がけていきます。
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	3	2	1	0	参加したことがないから分からない。	現時点では、未実施ですが、保護者様のご要望に応じて、今後イベントなどでも取り入れていく予定です。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	6	0	0	0		支援後のFBを通じて、利用児に対しての情報共有を密に行っています。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	1	0	0		事業所内相談等も活用し、保護者からの相談には適宜対応しています。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	3	0	2	参加したことはないが、そのようなイベントがあることは知っています。	親カフェなどのイベントを開催しご案内しています。保護者様が参加しやすいイベントになるよう、アンケートなどでも保護者様のご要望をお聞きしていきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	6	0	0	0		相談については随時対応させていただいており、必要に応じて事業所内相談の対応をさせていただいております。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	6	0	0	0		支援後のFBでの情報共有や、LINEを活用した連絡を行っています。
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	6	0	0	0		Instagram、ブログ、チラシにて活動概要や行事予定を発信しています。

	⑱	個人情報の取扱いに十分注意されているか	6	0	0	0		鍵付き書庫を使用し、適切に管理しています。
非常時等の対応	⑲	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	4	2	0	0		マニュアルについては作成し保管。保護者に対しても契約時に説明を行っています。防災訓練は定期的に実施しています。
	⑳	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	3	1	1	1		毎月1回防災訓練を行っています。
満足度	㉑	子どもは通所を楽しみにしているか	6	0	0	0	・毎回楽しみにしている。集団支援は苦手だが、個別支援は楽しいと話している。 ・毎週楽しみにしていた早く行きたいと言っている。	→個別支援を通して、集団に入っていけるよう支援計画を立てて支援をご提供しています。
	㉒	事業所の支援に満足しているか	6	0	0	0		今後も利用児も保護者も、安心して利用できる事業所運営を心掛け、困り様が通うのが、楽しみになるような環境作りをしていきます。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。